

SDGsデータベースのデータ収集と その活用方について

2023/12/21

JTREC 中村

• 背景

SDGsの考えが広く一般に波及するに従い、企業はSDGsに対応した活動である旨をアピールすることで企業のイメージ向上となると期待している。

ビジネス標準では、分野毎にターゲットを決め、そのターゲットに対する具体的な施策を提言している。

しかしながら、SDGsの範囲は広く、また地域、分野によりターゲットの対象が大きく異なる。例えば日本の様にほぼ全域が水資源の豊かな地域とエジプトの様にナイル川沿い以外では水資源が乏しいなどである。

このように異なる環境で同じターゲットについての活動を考えると、その規模、内容が異なり、必然的に実施の難易度も異なる。

ビジネス標準では、セクター毎のターゲットを定めたが地域による違いを表現できなかった。

この地域による違いを明らかにする、あるいは違いを加味した具体的な例示をすることが、企業あるいは団体によるSDGs活動の指針となるもの考えられる。

その手法としてビジネス標準に記述されている具体例をベース情報として、地域あるいは分野でビジネス標準に類似した活動をベース情報に追加していくことにより、「地域と分野」に特化したSDGs活動ターゲットを集積できると考えている。

1. ベース情報の取得

個人・企業・団体の活動をSDGsのターゲットと結合させるためのキーワードは全て名詞形で作成できる。
例えば、保護する。=>保護 削減する。=>削減 保全する=>保全 などである。

また、このキーワードにさらなるキーワードを追加した保護策、削減方法などもキーワードとなり得る。
策、方法などは単独ではSDGs活動とは結び付かないが保護+策 削減+方法などにより活動の具体的な内容となりうる。

さらに、このキーワードに自然、河川、海、汚水など対象物と結合することで自然保護策、汚水削減など新しいキーワードとなる。

この考えから、まず最初にビジネス標準を形態素解析により、キーワードを作成しこれをベース情報とする。
ビジネス標準 14. 1について考えてみる。

「廃水と固形 廃棄物は、自治体または政府が承認した処理システムに廃棄される。」
排水、固形、廃棄、物、自治体、政府、承認、処理、システム、が、ベース情報となる。
同様のことを、各ビジネス標準ごとにベース情報を作成することで、SDGsのベース情報が完成する。

2. ベース情報の拡大と充実

ビジネス標準に従い、個人・企業・団体などが、施策を講じたとする。この場合、当然のことながら施行者は独自の表現で計画するのが普通である。

「私たちは、厨房で発生した廃水は処理システムによりろ過し野菜くずなどは回収して発酵させて肥料にしています。」

これを、形態素解析により分解すると、新たに厨房、発生、ろ過、野菜、くず、回収、発行、肥料のキーワードが生成される。

これらのキーワードは他のターゲットで使用されていることも考えられ、この場合、図らずも、この施策は他のビジネス標準を満たしていることとなる。

これらの作業（SDG s 活動結果を登録すること）を繰り返すことにより、ベース情報は拡大し充実したものとなる。

3. 施策の評価

個人・企業・団体が何らかの施策を行う場合、その目的がSDG s を意識するしないに拘わらずSDG s に関わるものが想定される。

たとえ、目的が経費削減、労力削減、作業環境改良などであっても、結果はSDG s のターゲットとなり得ることは容易に想像できる。

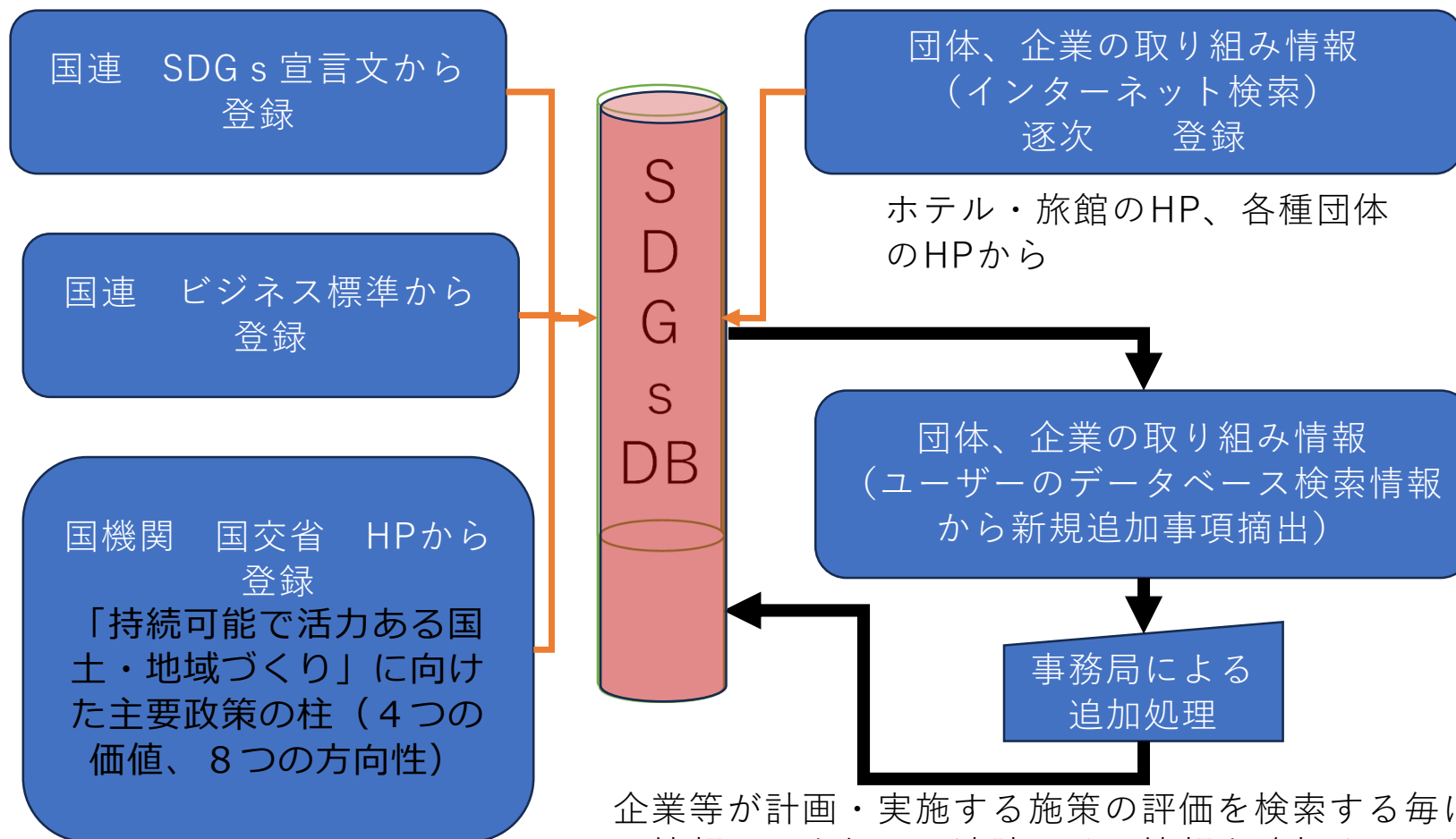
このことから、全ての活動計画をSDG s ベース情報により解析して、関連するターゲットを求める。これを計画事項として記録する。

一方、実施事項を同様に解析し、その結果を実施事項として記録する。

これら計画事項と、実施事項を同様の手法にて分析することで、計画に対する実施の評価を算出できる。

評価の算出方については今後更に検討を加え効果的な評価値の取得法を確立させる。

SDGsデータベースのデータ収集（旅行分野の場合）



企業等が計画・実施する施策の評価を検索する毎に新規の情報項目を得て、適時にその情報を追加することでDBの拡充を図る。

SDGs データベースの活用方

実施計画の策定

1. 活動方検討

キーワードから関連**ゴール**を知り、具体的な実施案を得る。

2. ターゲット決定

ターゲットのキーワードから**ビジネス標準**を求め、具体的な実施事項を策定する。



実施事項の評価

3. 実施計画評価

実施計画の主要**キーワード**から、関連する**ゴールとターゲット**を知る

4. 実施内容評価

実施事項の主要**キーワード**から、関連**ゴールとターゲット**の評価を知る

SDGs 評価表

		計画 事項			
		1.1	1.2	1.3	1.7.1
実施 事項	1.1				
	1.2				
	1.3				
	1.7.1				

SDGs 実施計画と実行の評価方法(例)

		計画事項				
		1.1	1.2			17.10
実施事項	1.1	○ ●				
	1.2	○	○ ●			
17.10						●

1. 各セクター毎に、実施計画と実施内容を入力する。

(実施計画=○ 実施事項=●)

2. 実施計画を解析し関連するSDGs項目○に計画評価点m点を与える。

1回ですむものならば、 $m=50$

継続性のものならば $m=30$

3. 実施事項を解析し関連するSDGs項目●に実施評価点n点を与える。

実施計画項目ならば $n=30$

実施計画にないならば $n=10$

4. 実施率

実施事項点数/実施計画点数

実施事項数/実施計画事項数

項目点数、項目数とも、継続性のものは50%計上とし継続達成した場合は100%計上とする。

m n値は仮値